

☑ 平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報 ☞ 位置付けられている計画等で「その他の計画」が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。																		
事務事業名	予防接種事業費	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決っていない	予算科目	区分	一般会計			款	4	項	1	目	4	事業	1
担当部	保健福祉部	担当課	保健推進課	担当係	保健指導	係	作成者	鈴木 雪絵	内線(電話番号)	23-3111	シート作成日	H30.11.12	部長決裁日	H30.11.15				
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)		根拠法令及び市条例等 <input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 予防接種法・同施行令・同施行規則・定期予防接種実施要綱) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市高齢者肺炎球菌予防接種助成金交付要綱・常総市小児インフルエンザ予防接種助成金交付要綱・常)															

2 事務事業の目的 ☞ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。	
現状課題	大多数は適切な接種時期に望ましい間隔で予防接種を受けているが、中には接種を忘れてたり予防接種の意義をよく理解しておらず実施していなかったりする場合がある。予防接種の必要性について更に周知し、受けやすい体制を整えていく必要がある。
望ましい状態	各種予防接種の実施により、市民の感染症の発生や蔓延を予防し、健康を維持する。

3 事務事業の主たる成果指標 ☞ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。										
指標名	定期予防接種接種率(麻しん風しん混合1期2期)	単位	%	目標値	100	目標年次	平成	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	予防接種者数/目標とする接種者数×100

4 事務事業の実績 ① ☞ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。												
年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度					
	業務名			業務名			業務名			活動量		
事務事業を構成する主な業務	①	小児定期予防接種(BCG・麻しん風しん混合・水痘・四種混合・日本脳炎・ヒブ・小児用肺炎球菌・不活化ポリオ・二種混合)			小児定期予防接種(BCG・麻しん風しん混合・水痘・四種混合・日本脳炎・ヒブ・小児用肺炎球菌・不活化ポリオ・二種混合・B型肝炎)			小児定期予防接種(BCG・麻しん風しん混合・水痘・四種混合・日本脳炎・ヒブ・小児用肺炎球菌・不活化ポリオ・二種混合・B型肝炎)			10474件	
	②	小児任意予防接種(おたふくかぜ・インフルエンザ)			小児任意予防接種(おたふくかぜ・インフルエンザ)			小児任意予防接種(おたふくかぜ・インフルエンザ)			4316件	
	③	高齢者定期予防接種(高齢者肺炎球菌・インフルエンザ)			高齢者定期予防接種(高齢者肺炎球菌・インフルエンザ)			高齢者定期予防接種(高齢者肺炎球菌・インフルエンザ)			7925件	
	④	高齢者任意予防接種(高齢者肺炎球菌)			高齢者任意予防接種(高齢者肺炎球菌)			高齢者任意予防接種(高齢者肺炎球菌)			472件	
	⑤	各種予防接種記録のシステム入力			各種予防接種記録のシステム入力			各種予防接種記録のシステム入力			23187件	
	⑥	県医師会・協力医療機関との契約			県医師会・協力医療機関との契約			県医師会・協力医療機関との契約			17件	
	⑦	予診票作成・交付事務			予診票作成・交付事務			予診票作成・交付事務				
	⑧	全戸配布チラシ・個別通知の作成			全戸配布チラシ・個別通知の作成			全戸配布チラシ・個別通知の作成			49000通	
	⑨	予防接種費用支払い事務(医療機関)			予防接種費用支払い事務(医療機関)			予防接種費用支払い事務(医療機関)			23187件	
	⑩	予防接種費用支払い事務(償還払い)			予防接種費用支払い事務(償還払い)			予防接種費用支払い事務(償還払い)			35件	
	目標値に対する実績値			95 %			目標値に対する実績値			93 %		
決算額	計	120,767,115 円	内訳	特定財源		円	計	129,613,029 円	内訳	特定財源		円
				一般財源	120,767,115 円			一般財源	129,613,029 円			123,720,339 円
	(住民一人あたりの行政コスト)			1,953 円			(住民一人あたりの行政コスト)			2,131 円		
										2,046 円		

5 担当者評価 ② ☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。	
成果	目標未達成 周知徹底等したことにより感染症の著しい蔓延はなかったが、成果指標の実績値は目標値に達していない。また、29年度から一部の任意接種を除く予防接種費用の償還払いが始まり、市民にとっては予防接種を受けやすい体制になりつつあるが、感染症の発生・蔓延を防ぐために十分な接種率とは言えない予防接種もある。
問題点	個別通知はしているが、子どもの年齢が上がるにつれ接種率は下がっている。高齢者インフルエンザ予防接種を市外で受ける際、「住所外接種券」の交付を窓口申請しなければならず、市民から不便との声が上がっている。また、中学生以下のインフルエンザ予防接種助成金は1回につき1000円、ロタウイルス予防接種については助成金がなく、子育て世代の経済的負担が大きい。

6 担当部長及び担当課長評価 ③ ☞ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由	感染症予防又は重症化を防止し、まん延を予防するとともに、市民の健康の保持及び増進を図ることを目的としており、事業の継続は必要である。また、近隣市の動向を踏まえ任意予防接種費用助成対象拡大の検討も必要である。

7 実施計画 ④ ☞ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。												
年度	平成30年度			平成31年度			平成32年度					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●小児定期予防接種(BCG・麻しん風しん混合・水痘・四種混合・日本脳炎・ヒブ・小児用肺炎球菌・不活化ポリオ・二種混合・B型肝炎) ●小児任意予防接種(おたふくかぜ・インフルエンザ) ●高齢者定期予防接種(高齢者肺炎球菌・インフルエンザ) ●高齢者任意予防接種(高齢者肺炎球菌) ●各種予防接種記録のシステム入力 ●県医師会・協力医療機関との契約 ●予診票作成・交付事務 ●全戸配布チラシ・個別通知の作成 ●予防接種費用支払い事務(医療機関) ●予防接種費用支払い事務(償還払い) ●風疹抗体検査費用助成 ●30歳以上60歳未満男性に対し、風疹抗体検査費用を助成する(国の補助が1/2ある予定)。 ●再予防接種費用全額助成 ●医療行為により、過去の予防接種の効果が期待できないと診断された20歳未満の市民に、再予防接種費用を全額助成する。 			<ul style="list-style-type: none"> ●小児定期予防接種(BCG・麻しん風しん混合・水痘・四種混合・日本脳炎・ヒブ・小児用肺炎球菌・不活化ポリオ・二種混合・B型肝炎) ●小児任意予防接種(おたふくかぜ・インフルエンザ) ●高齢者定期予防接種(高齢者肺炎球菌・インフルエンザ) ●高齢者任意予防接種(高齢者肺炎球菌) ●各種予防接種記録のシステム入力 ●県医師会・協力医療機関との契約 ●予診票作成・交付事務 ●全戸配布チラシ・個別通知の作成 ●予防接種費用支払い事務(医療機関) ●予防接種費用支払い事務(償還払い) ●風疹抗体検査費用助成 ●任意インフルエンザ予防接種助成を1回1,000円から2,000円に増額 ●風疹抗体検査費用助成 ●30歳以上60歳未満男性に対し、風疹抗体検査費用を助成する(国の補助が1/2ある予定)。 ●再予防接種費用全額助成 ●医療行為により、過去の予防接種の効果が期待できないと診断された20歳未満の市民に、再予防接種費用を全額助成する。 			<ul style="list-style-type: none"> ●小児定期予防接種(BCG・麻しん風しん混合・水痘・四種混合・日本脳炎・ヒブ・小児用肺炎球菌・不活化ポリオ・二種混合・B型肝炎) ●小児任意予防接種(おたふくかぜ・インフルエンザ) ●高齢者定期予防接種(高齢者肺炎球菌・インフルエンザ) ●高齢者任意予防接種(高齢者肺炎球菌) ●各種予防接種記録のシステム入力 ●県医師会・協力医療機関との契約 ●予診票作成・交付事務 ●全戸配布チラシ・個別通知の作成 ●予防接種費用支払い事務(医療機関) ●予防接種費用支払い事務(償還払い) ●風疹抗体検査費用助成 ●任意インフルエンザ予防接種助成を1回1,000円から2,000円に増額 ●風疹抗体検査費用助成 ●30歳以上60歳未満男性に対し、風疹抗体検査費用を助成する(国の補助が1/2ある予定)。 ●再予防接種費用全額助成 ●医療行為により、過去の予防接種の効果が期待できないと診断された20歳未満の市民に、再予防接種費用を全額助成する。 					
	歳出	計	133,395 千円	歳出	計	139,227 千円	歳出	計	153,315 千円			
			特定財源			135 千円			135 千円			
	歳入	計	133,395 千円	歳入	計	139,092 千円	歳入	計	153,180 千円			
			一般財源			139,092 千円			153,180 千円			
		計			133,395 千円			計			139,227 千円	
											153,315 千円	

8 財務アドバイザーの見解	
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。	

9 行政改革懇談会(市民)の意見	
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。ただし、厳しい財政状況を考えると、全戸配布のチラシ等について、広報でのPRと、真に必要とする個人への連絡手段を工夫することにより、徹底と注意喚起が図られるのではないか、効果的な創意工夫を追及されたい。	

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤	
事務事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由	本事業により感染症予防又は重症化を防止し、まん延を予防することは、最終的には医療費の削減にもつながる。このため、十分な接種率といえない予防接種もあるため、広報・連絡手段の効果的方法を追及されたい。

11 事務事業の改善理由 ⑥ ☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。	
事業内容	①昭和54年4月1日以前に生まれた男性は、定期風しん予防接種の対象外だったこともあり、流行時の罹患者の大半を占めている。風疹は、妊娠中の女性が罹患すると胎児に深刻な影響が出ることがあるため、成人男性の抗体検査を実施し、免疫がないと分かった人に接種を促していく必要がある。30歳以上60歳未満男性の抗体検査には、国から1/2補助が出る予定。 ②一度予防接種を受けても、骨髄移植等の医療行為により免疫を失い、効果が期待できなくなるケースがある。感染症の発生及びまん延予防のためにも、再接種費用を助成する必要がある。